

【「H31自己評価」欄の○△×について】
 ○ 順調 … 概ね予定どおり進捗している
 △ 遅れ … 進捗が遅れが見られる、あまり進捗していない
 × 未着手 … 着手できていない
 - 評価外 … 終了した、実施対象期間前、評価できない

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価		R2 取組みの方向性	所管
					H29	H30	H31	R2					
I 協議体の再構築	1	理事会・評議員会の構成見直し	<p>本会の意思決定が協議会構成員の総意に基づくものになるよう、理事と評議員の出身母体を多様化します。また、社会福祉法の改正により、理事会は執行機関、評議員会は議決機関としての機能を明確にしなければならないことから、それぞれの役割に即した構成に見直します。</p> <p>【理事・評議員の出身母体数、理事会・評議員会の構成】</p>	<p>33団体</p> <p>理事・評議員会双方に人材を輩出している団体があるなど、役割分担が不明確。</p>	40団体 理事会を執行機関、評議員会を議決機関と位置づけてそれぞれ適切な出身母体を割り当て、同一母体から理事・評議員双方に人材を受け入れるケースを解消する。	-	-	-	-	-	-	総務係	
	2	会員制度の見直し	<p>市区町村社協経営指針で示されている会員制度（住民会員、構成員組織会員^(※)、賛助会員）をベースに、会員制度を見直します。また、構成員組織会員、賛助会員に相当する法人を対象に調査を行い、制度の見直しや会員の拡大に向けた企画立案に活用します。</p> <p>【見直しの実施】</p>	<p>市区町村社協経営指針とは異なる仕組みとなっている。</p>	見直し検討	地区部会各区代表との意見交換会	周知	新制度への移行	<p>第1回理事会、第3回評議員会において賛助会員と特別会員を賛助会員に一本化する会員規程の改正（案）を上程し、承認されました。</p> <p>また、本会ホームページや社協だより109号により、制度変更の周知を図りました。</p>	<p>計画どおり進捗しています。</p>	○	新制度へ移行します。	推進係
	3	会費制度の見直し	<p>会員制度の見直しに合わせて、会費制度についても見直します。</p> <p>【見直しの実施】</p>	<p>住民会員（個人・世帯） 200円 特別会員（施設・団体） 3000円 賛助会員（企業） 10000円</p>	見直し検討	地区部会各区代表との意見交換会	周知	新制度への移行	<p>第1回理事会、第3回評議員会において賛助会員と特別会員を賛助会員に一本化する会員規程の改正（案）を上程し、承認されました。</p> <p>また、本会ホームページや社協だより109号により、制度変更の周知を図りました。</p>	<p>計画どおり進捗しています。</p>	○	新制度へ移行します。	推進係
II 地区部会への支援強化	4	地区部会組織モデルの作成	<p>地区部会の情報が、それを構成する単位自治会をはじめとした地区部会内全体に伝わるよう、組織モデルを作成してNo7の地区部会シートに盛り込み、地区部会支援に活用します。</p> <p>【地区部会シートへのモデルの盛り込み】</p>	組織モデルの作成	地区部会シートへの盛り込み	-	-	-	-	-	-	-	推進係
	5	地区部会事業の検証	<p>複数の単位自治会を包含する広域的な地区部会エリアで取り組むべき事業と単位自治会ごとに取り組むべき事業を整理して、地区部会支援に当たっての標準的な診断要領を定め、No7の支援方針に反映させます。</p> <p>【地区部会シートへの診断要領の盛り込み】</p>	<p>単位自治会と地区部会で 行うべき事業の 基本方針の作成</p>	地区部会シートへの盛り込み	-	-	-	-	-	-	-	推進係

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価	R2 取組みの方向性	所管		
					H29	H30	H31	R2						
Ⅱ 地区部会への 支援強化	6	地区部会データの提供	高齢者、児童、障害者、福祉施設などの福祉関連情報、避難所等の防災関係等のデータをNo7の地区部会シートに盛り込んで支援に活用するとともに、地区部会にも提供し、地区部会の取組みに対する意思決定を支援します。 【地区部会シートへの盛り込み、提供の実施】	高齢者関係のデータの提供を実施	データの提供 地区部会シートへの盛り込み	データの提供	データの提供	データの提供	データを更新しました。	概ね計画どおり進捗しています。	○ 地区部会シートを更新します。	推進係		
	7	地区部会シートの作成による支援方針の明確化	カルテに相当する「地区部会シート」を作成して、地区部会ごとの支援方針を明確化した上で、区事務所が強力に支援します。 【地区部会シートの作成】	統一的な作成はしていない	シートの作成 (No4~6の内容を盛り込む) 及び公表	シートの作成・公表	シートの作成・公表	シートの作成・公表	データを更新しました。	概ね計画どおり進捗しています。	○ 地区部会シートを更新します。	推進係 区事務所		
	8	地区部会助成金の見直し	地区部会の主体性をより引き出せるよう、助成金に提案型の仕組み（CSW ^(※) の支援を受けつつ補助事業者が提案する仕組み）を取り入れます。また、現在、助成対象を地区部会に限定している事業であっても、地区部会以外も実施主体になりうるものであれば、助成できるよう改めます。 【新助成制度の実施】	提案型の助成申請を認めていない。最終的な事業実施主体が誰かに関わらず、助成対象を一律に地区部会に限定している。	新制度施行	-	-	-	申請 なし	助成枠6団体に対し、申請団体はありませんでした。	-	申請が低調なことから、今後、各種団体への働きかけを強化してまいります。	推進係	
	9	地区部会の拠点確保支援	地区部会活動の強化を図るため、拠点の候補となる社会福祉法人の地域交流スペースや、公共施設の空きスペース等の活用を支援します。 【整備方針の作成】	67地区部会のうち、活動拠点を有しているのは15地区部会。	-	活動拠点整備方針の作成	-	-	-	-	-	-	-	推進係
	10	地区部会各区代表との意見交換会の実施	地域の課題やニーズを把握するため、地区部会各区代表との意見交換会を実施します。 【意見交換会実施回数】	未実施	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	1回実施	事務局・地区部会各区代表とともに継続・新規で意見交換をしていく案件がなかったため、1回の実施に留まりました。	○ 引き続き、地域の課題やニーズを把握するため、必要に応じて地区部会各区代表との意見交換会を実施します。	推進係		
Ⅲ 実施事業の見直し	11	行政との役割分担の明確化	No12の事業シートの中に当該事業周辺における行政の活動を入れ、役割がうまく分担されているか検証します。 【事業シートの作成】	未作成	事業シートの作成・盛り込み	-	-	-	-	-	-	-	総務係	

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価	R2 取組みの方向性	所管	
					H29	H30	H31	R2					
Ⅲ 実施事業の見直し	12	事業シートの作成	全ての事業について統一フォーマットによる事業シートを作成し、事業目的、目標達成指標、業績評価指標、事業スケジュールを明確にし、管理ツールとして活用します。 【事業シートの作成】	未作成	事業シートの作成・内容の精査	事業シートの公表	-	-	-	-	-	総務係	
	13	事業シートの活用	事業シートを活用して、年2回（中間・期末）評価を実施します。期末の評価で一定基準を下回る事業は見直し対象とし、その結果を次年度予算に反映させます。 【評価の実施】	未実施	-	評価の実施	評価の実施	評価の実施	評価の実施	すべての事業シートを、予算編成の参考資料として活用しました。ただし、指標で想定するような厳密な評価は実施しませんでした。	予算編成の直前に当たる中間時点での評価は、事業の進捗把握も困難で、できませんでした。そのため、事業の目的や目標を見失わないためのツールとして活用するにとどまりました。	△ 今年度予定している次期活動計画策定に向けて、事業シートの内容の振り返りと各事業の進捗状況の確認を行います。	総務係
	14	重点事業の設定 ①	次期地域福祉活動計画の策定にあたり、重要度、緊急度、本会の関与度及び需要の拡大余地に着目し、優先的に取組む事業を設定します。 【重点事業の設定、活動計画への反映】	未着手	実施 活動計画へ反映	実施 結果公表	-	-	-	-	-	-	総務係
	15	重点事業の設定 ②	重点事業設定に当たっては、既存事業の検証だけでなく、取り組むべき事業に漏れがないかも検証します。特に、子育て支援、福祉教育や地域包括ケアに関する取組みについては慎重に検証し、活動計画に反映させます。また、公益性が高い本会の特性を生かした自主事業の実施も検討します。 【検証の実施、活動計画への反映】	未着手	実施 活動計画へ反映	実施 結果公表	-	-	-	-	-	-	総務係
	16	市への要望書の提出	社会福祉協議会としての活動に対し、行政への要望事項を毎年度、市の予算編成に合わせて提出します。 【提出の実施】	未実施	要望書の提出	同左	同左	同左	同左	7月に市へ要望書を提出しましたが、回答は得られませんでした。	計画どおり実施しましたが、回答は得られませんでした。	△ 引き続き、本会活動の課題解決のための要望を行います。	総務係
Ⅳ との社会連携強化法人	17	社会福祉施設連絡協議会における会議の充実	施設と地域の連携強化を目的としたテーマを設定し、区の地区担当者などテーマに合ったメンバーを新たに入れていきます。回数も増やし、会議の充実を図ります。No18の結果を議題に取り上げ、公益的な取組みの効果的な拡大策について議論します。 【テーマとメンバーの見直し、回数】	(テーマ) 大都市会議議題 (メンバー) 施設運営者の代表 (回数) 年3回	(テーマ) 地域における公益的な取組みの促進や社会福祉法人との連携に関する テーマを追加 (メンバー) テーマに応じ区の地区担当者などを追加 (回数) 年4回	同左	同左	同左	同左	会議を4回実施しました。 社会福祉研修センターも会議に参加し、社会福祉施設の人材育成・定着に向けた研修について協議を行いました。	社会福祉施設連絡協議会において、社会福祉施設の人材育成・定着に向けた研修について協議するとともに、地域における公益的な取組をしていく法人の紹介をしました。	○ 社会福祉施設連絡協議会の充実を図ってまいります。	推進係

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価	R2 取組みの方向性	所管
					H29	H30	H31	R2				
Ⅳ との社会 連携強化 法人	18	社会福祉施設 連絡協議会を通じた 地域における 公益的な取組み の実施状況調査	社会福祉法人による地域における公益的 な取組みの実施状況を調査し、結果を No17の会議の議題に取り上げます。 【調査の実施】	未実施	調査実施	同左	同左	同左	社会福祉施設連絡協議 会役員の各種別の会議に おいて、事例集を配布す るとともに地域における 公益的な取組の実施につ いて働きかけました。	調査は、実施しませんでした が各種別の会議に出席し、 事例集を配布するとともに、 働きかけを行いました。	○ 社会福祉施設連絡協議会 の会議の場などを活用 し、引き続き各施設に対 して地域における公益的 な取組の実施を働きかけ てまいります。	推進係
	19	社会福祉法人との 関係づくり	各区事務所が社会福祉法人やその施設を 訪問したり、社会福祉施設連絡協議会に参 加することを通じて、連携に向けた関係を 構築します。特に、No18の調査の結果、 公益的な取組みを実施している法人に対し ては、優先的に訪問します。 【訪問済法人の割合（※）】	未実施	60%以上	100%	-	-	-	-	-	区事務所
Ⅴ 区事務 所の強化	20	CSW機能の充実①	地域における総合相談に応じ生活支援が 行えるよう、CSW機能の充実を図りま す。CSWの強化、育成のため、CSW会 議を実施するとともに、全職員が共有でき るようCSWマニュアルを作成します。 【会議の開催回数、CSWマニュアルの作 成】	CSW会議：不定期 マニュアル：未整備	CSW会議1回/月 CSWマニュアル の作成	CSW会議1回/月	CSW会議1回/月	CSW会議1回/月	CSW会議を年10回 開催しました。 うち、2回はスーパー バイザーを招き、事例検 討会を実施しました。	概ね計画どおり進捗してい ます。	○ 引き続き、CSW会議 を月1回実施します。 うち、4回はスーパー バイザーを招き事例検 討会開催します。	推進係 区事務所
	21	CSW機能の充実②	日常生活自立支援事業の利用相談時に専 門員が行う訪問調査にCSWが同行し、同 事業のみによらない総合的な支援につなげ ます。 【同行の実施】	未実施	実施	実施	実施	実施	CSWからの情報によ り相談に繋がった案件が 2件、そのうち、実際の 調査に立ち会った案件は 1件でした。 なお、成年後見支援セ ンターに寄せられた相談 からCSWに繋いだ案件 は2件ありました。	複合的な課題を持つ市民と の初期の接触段階で、CSWか らの紹介でない（先にCSWと の面識がない）場合、プライ バシーの観点から直接支援に 関係する者以外との接触が難 しいことが多いのではないかと 感じております。	- 日常生活自立支援事業 の新規利用に係る相談時 のみならず、現契約者に 複合的な課題を有するこ とが判明した際には、必 要に応じてCSWが関与 し、総合的な支援を図っ てまいります。	後見支援センター 区事務所
Ⅵ 人材育 成・確保	22	人事考課制度 の見直し	人事考課表を改定し、職員の到達レベル をより分かりやすい形で示します。 【人事考課表の改定】	市に準拠した考課表 を用いて管理職を 対象にモデル実施 (処遇への反映なし)	考課表改定案 作成	新考課表による 考課を実施	同左 前年度考課結果の 処遇への反映	同左 前年度考課結果の 処遇への反映	平成30年度に改定し た人事考課表を運用する とともに、千葉市社会福 祉事業団との合併契約で の合意に基づき、令和2 年度以降の制度構築を行 いました。	人事考課表の改定という指 標は達成し、それに基づく考 課も実践しましたが、処遇に は未反映です。この点につ いて、合併契約では、管理職に あっては令和4年度から、非 管理職にあっては令和5年度 から処遇反映することが明記 されました。	△ 合併契約での合意に基 づいて構築された新制度 を運用していきます。	総務係
	23	目標申告・育成指導 の実施	目標申告や所属長による育成指導を通じ て、目的意識の浸透を図ります。その際、 人事考課表の考課基準（No22）や事業 シート（No12）も活用します。 【対象者、面接回数】	管理職対象 年1回	全職員対象 年3回	全職員対象 年3回	全職員対象 年3回	全職員対象 年3回	全職員を対象とし、面 接も年3回実施しまし た。	計画どおり実施しました。 特に目標申告については、平 成28年度の開始からの結果 を振り返ったところ、目標の 達成状況に顕著な良化が見ら れます。	○ 千葉市社会福祉事業団 との合併を踏まえて施行 される新人事考課制度に おいてもこの取組みは継 承されており、引き続き 計画どおり進めていきま す。	総務係

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価	R2 取組みの方向性	所管	
					H29	H30	H31	R2					
VI 人材育成・確保	24	若年層職員の採用	若年の社会福祉の専門人材の採用を進めます。退職予定者の前倒し補充により早期の採用を進めることとします。 【採用数】	新規採用なし (35歳以下の職員数2人)	31年度までに3人以上採用	31年度までに3人以上採用	31年度までに3人以上採用	-	令和2年4月1日付で1名の職員を採用しました。	計画どおり実施し、計画期間を遡算した累計の採用人数は、令和2年4月1日現在で6人となりました。	○	-	総務係
	25	職務分類の適正化	職名と職階が未整理であるため、適正化を図ります。 【見直しの実施】	同一職階に4職種が混在するなど職務分類が未整理	検討	実施	-	-	-	千葉市社会福祉事業団との合併協議に係るテーマであり、基盤協方針に基づく取組みにはなじまなくなったため、除外しました。	-	-	総務係
	26	給与体系の見直し	給与体系の見直しを検討します。 【検討の実施】	市の8級制の給与表を使用しており、8級は未使用の状況	検討	検討	-	-	-	千葉市社会福祉事業団との合併協議に係るテーマであり、基盤協方針に基づく取組みにはなじまなくなったため、除外しました。	-	-	総務係
	27	研修計画の作成	階層ごとに履修すべき研修を明示する研修計画を作成します。 【計画の作成】	未作成	検討	作成	-	-	30年度に策定した計画を運用するとともに、コミュニティソーシャルワーク機能強化に向けた新たな研修を試行実施しました。	CSW機能強化について、新たな研修を試みた一方、やるべきことが確立したわけではなく、試行錯誤の段階です。	○	旧千葉市社会福祉事業団研修計画との統合も含め、さらなるブラッシュアップに努めます。	総務係
VII 支出削減	28	予算管理の仕組みの整備	所属長が自部門の予算を容易に管理できる仕組みを整えます。また、執行同や支出負担行為（契約締結・助成決定等）の段階で予算の執行状況を把握できる仕組みを整えるとともに、資金計画に連動した予算配当を行うことにより予算執行を統制する仕組みを導入します。 【会計システムの整備】	システム上事業別の管理は行っているが、所属ごとの管理は行っておらず集計も困難。・システム上の執行状況把握のタイミングは、支出伝票起票時点（請求書受理時点）。・予算配当は資金計画と連動していない。また、計画とは異なる執行が可能となっている。	会計システムの仕様検討 経理規程の改正	新会計システムの導入	-	-	H30年4月より新システムに移行し、概ね順調に稼働しています。	計画どおり実施しました。	○	引き続き、所属長による適切な予算執行管理を行います。	経理係
VIII 収入確保	29	共同募金増収に向けたアクションプランの策定	共同募金増収に向けたアクションプランを策定し、計画的に取組みを進めます。 【アクションプランの策定】	新たな試みも実践しているがプランに基づくものではない。	策定	-	-	-	昨年度に引き続き、千葉県共同募金会と意見交換しながら共同で年度事業計画を立て、取り組みました。ただし、支会（千葉市社協）単独でのアクションプランは策定していません。	千葉県共同募金会と支会が共同で年度事業計画を立てて取り組むことにより、支会（千葉市社協）の強みや不得手な部分の分析が客観的にでき、他市町村の効果的事例の情報も具体的に入手できるため、取り組みの選択肢の幅が広がりました。	△	アクションプラン策定に関する情報収集を続けつつ、千葉県共同募金会と一体となった取組みを継続します。	支援係 区事務所

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価	R2 取組みの方向性	所管	
					H29	H30	H31	R2					
Ⅷ 収入確保	30	千葉県共同募金会 と連携した事業展開	千葉県共同募金会が推進している奇附つき自動販売機による募金（ハートフルベンダー募金）の普及を、共同募金会と連携して促進します。 【設置済数】	4か所	6か所	14か所	22か所	30か所	取引先企業で1か所設置に至りました。 毎年、共同募金の法人募金の依頼をしている市商工会議所へのDMに自販機募金のチラシを同封し協力を呼びかけましたが、申し込みはありませんでした。	1か所設置に至りました。DMの効果がなかったため、手法の見直しが必要です。	△	DMの効果がなかったため、社会福祉施設や各企業など個別訪問による依頼を中心に進めます。	支援係
	31	共同募金の使途 に関する広報の充実	募金が使われたことにより、まちがどう変化したのか、ホームページで具体的・ビジュアルに紹介します。 【掲載の実施】	未実施	実施	実施	実施	実施	昨年度に引き続きジェフ市原・千葉との協働事業（ポスター・PRグッズを作成し、PR活動を行う取組みなど）を行いました。	課題であったジェフ市原・千葉の助成先への訪問がスケジュール等が合わず実現できませんでした。 ホームゲームでの募金は選手の協力も得られ、チームの広報紙でも宣伝をしていただき、好評を得ました。	△	協働事業を継続し、ポスター及びPRグッズを作成しPR活動を行うとともに、助成先への訪問活動を行います。 また、協働事業以外の分野では、ホームページによる広報の充実に努めます。	支援係
	32	同募金の配分方針 の明確化	配分要綱を策定して配分方針を明確にします。 【要綱策定】	要綱なし	要綱策定	-	-	-	未着手	未着手	×	課題を整理し、市社協内の他部署との情報交換を取り入れながら配分方針の検討を進めます。	支援係
	33	基金運営委員会の 整備	運営委員会未設置の基金について、運営委員会を設置します。 【委員会未設置基金数】	2	0	0	0	0	未達成の1基金について未着手	運営委員会の設置にとどまらず、事業のあり方も含めた一体的な検討が必要ではないかと考えています。	×	事業のあり方も含めて一体的に検討します。	経理係 支援係
	34	受託事業から の収益確保	精算・返納している受託収入のうち、委託者に返納すべき部分と受託者の努力による部分を明確化し、後者については本会の収益とするよう委託者に働きかけます。 【協議の実施】	指定管理事業を除き、受託事業はすべて清算・返納している。	協議実施	同左	同左	同左	同左	未達成の放課後児童健全育成事業において、精算不要とする部分を明確化した受託契約を締結しました。	○	計画どおり実施します。	事業所管 各課 経理係
	35	助成制度の活用	調査研究等に係る外部の助成制度の情報を集約して内部共有を図り、活用を促進します。 【共有の場とする会議の数（種類）】	0	3	3	3	3	3	外部助成制度の情報収集は行ったものの、会議の場における情報共有は未実施でした。	計画を達成できませんでした。	×	計画どおり実施します。

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の平成31年度報告

区分	No.	取組項目	概要（具体的な取組内容） 【採用する指標】	方針策定時の状況 (H28)	方針				H31 実績	H31 自己評価	R2 取組みの方向性	所管	
					H29	H30	H31	R2					
IX 資金管理の強化	36	受託金収入の概算払い化	受託事業の支払条件を精算払い（事後収入）から概算払い（事前収入）に変更するよう委託者に働きかけます。 【精算払い事業数】	2	0	0	0	0	未達成の1事業について、受託契約条件提案時に概算払い化を要望しましたが、委託者に認められませんでした。	計画を達成できませんでした。	△ 残り1事業について、引き続き概算払い化を要望します。	事業所管 各課 経理係	
	37	短期資金計画の策定	法人全体の1年間の資金計画を策定します。 【策定の実施】	未実施	実施	実施	実施	実施	平成31年度予算において、短期資金計画を作成しました。	計画どおり実施しました。	○ 令和2年度予算編成において、平成31年度事業執行に伴う資金繰りを踏まえた短期資金計画を作成します。	経理係	
	38	財源入りの活動計画の策定	3年ごとに策定している活動計画は、財源を入れて策定します。 【財源を入れた策定の実施】	未実施	実施 (平成30～32年度活動計画)	-	-	実施 (平成33～35年度活動計画)	-	-	-	-	事業所管 各課 経理係
	39	経営企画会議の開催	管理者層を対象とした内部会議で四半期ごとに議題とし、経営状況の共有を図ります。 【会議の開催回数】	未実施	年4回	年4回	年4回	年4回	6月に管理職の月例会議で前年度決算について討議を行い、12月には重点6事業の進捗状況に関する意見交換をしました。	2回実施しました。	△ 計画どおり実施します。	総務係 経理係	